

はじめに

この本を書くきっかけは、投資信託の残高が80兆円を超え、大手金融機関の投資セミナーには数千もの人が集まり、今まで郵便貯金しかしたことがなかった人がこぞって投資信託を買っている中、「なぜ個人投資家で儲かっている人が少ないのか？」という疑問です。

私はファイナンシャル・プランナーという職業柄、これから投資を考えている人か、投資で失敗した人の相談を受けることが多いです。そして、ほとんどの人が投資で成功するには、長期分散投資が有効だということをなんとなく理解しています。しかし、ダイエツトで成功するには基礎代謝以上のカロリーを摂取しないこと、二日酔いを避けるには飲みすぎないこと、と誰でもわかっているながらも実践できる人は少ないのと同じく、投資においても多くの人が、株価が高くなると強気になり、下がると弱気になり、さらに下がると

“この世の終わり”がすぐ目の前に迫っていると思えば投資することをやめてしまいます。

そんな中、周りの雑音をシャットアウトして、ただひたすら修行僧のように長期投資を続けることはほんとうに難しいものです。だからこそ、投資で成功している人は少ないように思います。ただ、逆に言うと、わかっているけどなかなかできない長期分散投資を、しっかりとした考えかたをもって継続することができたなら、投資で成功する可能性が格段に高まります。

本書のタイトルである『隠れたお金持ちが、みんなやってる投資の法則』ですが、これはお金持ちは裏でこそそとお金を貯めていたり、怪しいことをしてお金を儲けているという意味ではありません。

私のこれまでの経験上、お金持ちというのは無味乾燥で当たり前のことを粛々としているだけなのです。マスコミを賑わしているお金持ちは、大多数のお金持ちとは違ったプロ

セスでお金持ちになつてゐるからこそ取り上げられるのであつて、みなさんのすぐ周りにいるお金持ちは、みなさんより少し強い意志とお金が増えていく仕組み、法則を知つてゐるだけのように思ひます。

本書は10話のショートストーリーから成り立っています。なぜショートストーリーと
いう形を取つてゐるかというと、読者のみなさんの記憶に長期間残るイメージをつくりた
かつたからです。アスリートが試合前にすることは、成功イメージを頭の中で繰り返すこ
とです。人は文字の羅列だけで理解したものを、記憶し実行するのは簡単ではありません。
10話のうち1つでも2つでもみなさんの記憶に残り、投資判断で迷つたときの一助となれ
ばと思ひます。